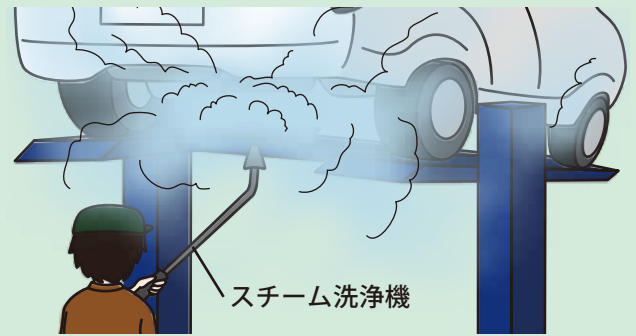


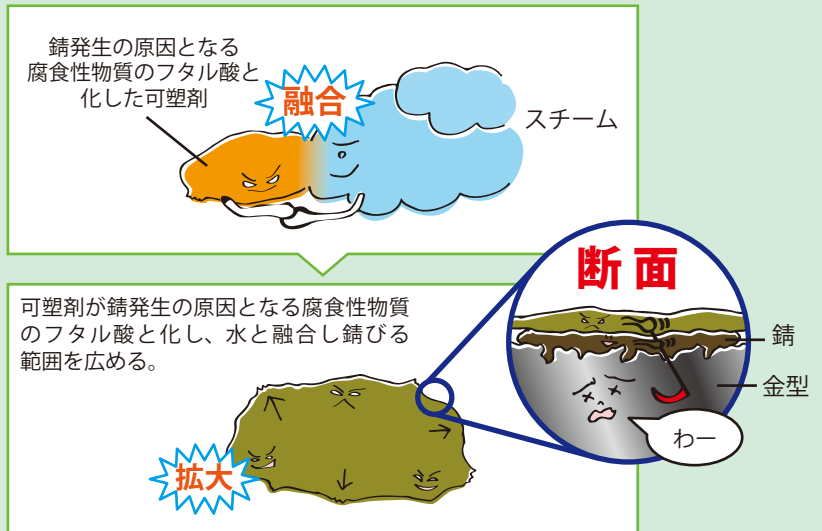
スチーム洗浄機のデメリット

～金型洗浄にスチームを用いるのは無謀です～

1 自動車をジャッキアップして底にもぐり込んでタイヤや底に付着した汚れを高圧スチームで除去する光景を見かけますが、この方法は防錆を施したパーツである事が必須です。防錆処理されていない金型に用いるのは無謀です。



2 鉄にメッキや塗装を施したものをスチーム洗浄しても錆は発生しませんが、鉄鋼製の金型にはスチーム洗浄機は不向きです。錆発生の原因となる腐食性物質のフタル酸と化した可塑剤を含む樹脂カス等が付着した金型に勢いよく高温のスチームをぶつけると、水に空気中の酸素が混ざり、金型を錆びさせます。



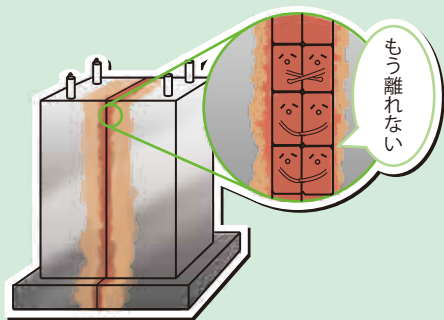
3 金型に付着しているチリやホコリなどの多孔質なダストが拡散したスチームの水分を吸収し、錆びさせます。



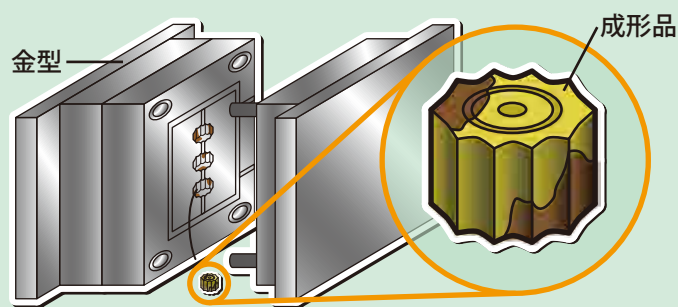
4 高温蒸気の為、金型パーツを手を持ってスチーム洗浄機を使うことができないので、小さなパーツには使えません。



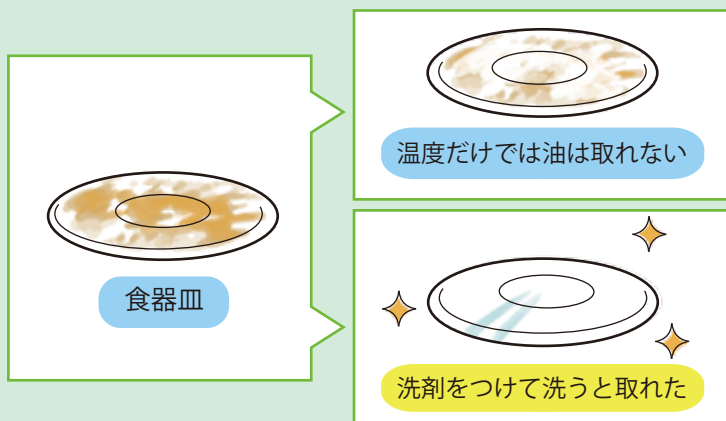
5 金型をばらさずに洗浄できるという謳い文句ですが、入れ子の隙間に水分が入り込み、腐食（錆）の原因となり、ガス抜けが悪くなるだけでなく、**入れ子が錆付いて抜けなくなります。**



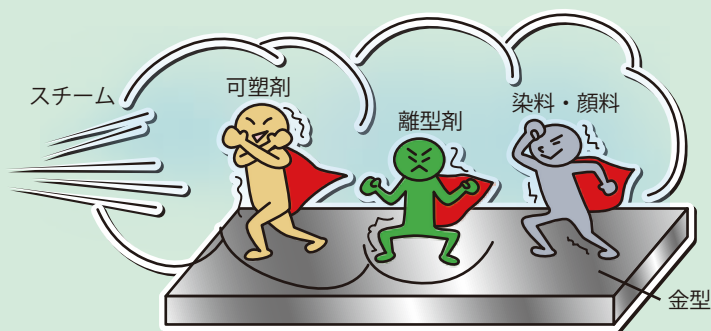
金型をばらさずに洗浄できるという謳い文句ですが、隙間に入り込んだ水分は成形中に茶色の水となって隙間から湧き出し、成形品に付着し**品質不良につながる**こともあります。



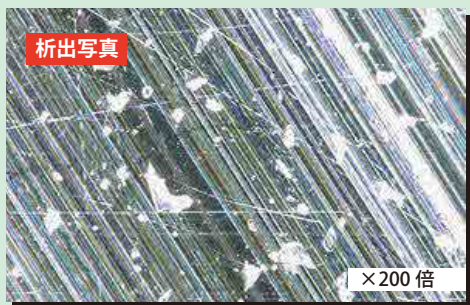
6 油污れに対して有効と謳っていますが、「水と油」と言います。油污れが蒸気の当たっている周囲に逃げて行くだけで、**汚れを薄く延ばしているだけ**です。また、界面活性剤を含まないので**汚れの再付着も起き、掘り込んだ形状の金型には汚れた水が溜まり使えません。**



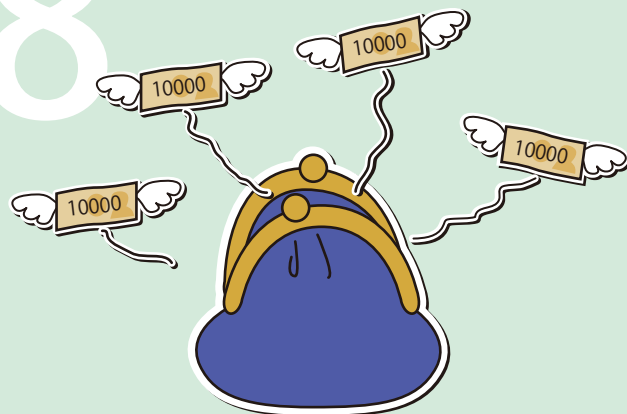
また金型に付着する汚れは、油性分だけでなく特殊で、射出成形圧力で金型に深く頑固に根を下ろしています。錆発生の原因となる腐食性物質のフタル酸と化した可塑剤を含む樹脂カスや顔料・染料等の汚れで覆われた金型表面に高温の蒸気をぶつけて、蒸気熱で多少移動したり吹き飛ばされたりしても**汚れは残っています。**



7 スチームは水であり、顕微鏡レベルで確認すると、水の中の成分（カルシウム等）が金型表面に付着しているのが確認できます。これらは、**成形不良につながり、固形化すると除去するのは至難の業**です。



8 スチーム洗浄機は消費電力が大きく、電気代がかさみ、不経済です。



日本全国へ無料デモンストレーション実施中

ソマックス 株式会社

〒537-0023 大阪市東成区玉津1丁目7番17号
TEL:06-6976-1108 E-mail:info@somax.co.jp
FAX:06-6977-5702 http://www.somax.co.jp